

(25) ベゴニア

ア 各病害虫の防除

茎腐病（リゾクトニア菌）

灰色かび病

うどんこ病

斑点細菌病

ア 各病害虫の防除

【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

茎腐病（リゾクトニア菌）

(判断、防除に関する措置)

- 1 茎の地際に褐色の病斑ができ、拡大して茎を取り巻くようになると折れやすくなる。

(耕種的・物理的防除)

- 1 苗床及び鉢用土を消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。
- 2 通風を良くし、過度のかん水を避ける。
- 3 高温多湿のとき多発する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。
- 2 薬剤により土壌消毒を行う。

灰色かび病

(耕種的・物理的防除)

- 1 通風を良くし、日照時間をなるべく多く与える。かん水過多を避ける。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。

うどんこ病

(耕種的・物理的防除)

- 1 通風を良くし、日照時間をなるべく多く与える。かん水過多を避ける。
- 2 抵抗性品種を栽培する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。

斑点細菌病

(判断、防除に関する措置)

- 1 葉に水浸状の小斑点を生じ、やがて大型不整形の褐色病斑となる。

(耕種的・物理的防除)

- 1 過度のかん水を避ける。葉面散水をしない。換気、保温に努める。
- 2 病株を直ちに処分する。
- 3 高温多湿時、特にエラチオールペゴニアに発生が多い。